

制服の思い出をたどってみれば

平成一七年度より改変される女子生徒の制服に関しては、最終決定に向けて話し合いが進められています。

実は、女子の制服が変わるのは、滝学園の歴史の中でこれが二度目。初代のスタイルは、襟に三本のラインが入ったセーラー服でした。(写真 は冬服、 は夏服) このセーラー服を着用していた滝高校出身の現事務職員、藤本の話によると、冬はセーラー服に黒いズボンといういでたちで、寒さをしのぐこともあったとか。



写真

中学三年生の時、イートン型というダブルの上着のデザインはすでに決まっていました。ただ、色は未定で、中三女子生徒が黒・紺茶 鉄グリーンの四色から選ぶことになりました。当時、制服にはあまり採用されていなかった鉄グリーンを支持する生徒が圧倒的に多く、多数決により現制服の色が決定したのです。」

制服が改変された翌年三十九年の学級写真では、全員が新しい制服での撮影だったそうです。昭和三十八年、一宮市出身の歌手舟木一夫さん主演の映画「高校三年生」が滝学園で撮影されました。(写真)

本校の伝統的な校舎と、当時としては斬新な女子の制服が監督の目にとまったそうです。滝高校一年生の生徒達がエキストラとして出演。以後、この映画の影響もあり、制服に憧れて本校を受験する生徒も多くなったと聞いています。」

ちなみに当時は、生地を購入し、型紙から作りあげるオリジナル制服が多かったとか。この背景には、既製のサイズに限



写真



写真

られており、出来上がりに時間がかかったこと、また仕立て屋が多かったことなどがあげられます。

約四〇年ぶりに改変される女子制服。また新たなストーリーが滝学園の歴史に刻まれることでしょう。

雨のち嵐のち晴れ

中3修学旅行紀

台風二三号の待つ中国地方への三泊四日の旅は、事故もなく無事に行程を終えることができました。

東洋一の規模を誇る秋芳洞では自然の神秘を、台風の影響で破損箇所のある厳島神社では古人の知恵を、広島の平和記念公園では人の罪深さを、知る機会を得ました。

思いがけず旅館に缶詰となったりしましたが、この修学旅行で生徒諸君が満喫したのは、仲間との触れ合いでしょう。どこにいて、何を見るかよりも、誰と一緒にいるかで、感じるものが変わる。そんな経験をしたはずです。台風の直撃というハプニングも含め、生徒たちの心に一生残る思い出です。

秋芳洞の中は、本当に別世界のような気がしました。あるものすべてが自然でできているものは信じ難いものばかりで、入ってからは驚いてばかりでした。天井ははるか高く、大きな岩はとも頑丈で、その中を通っている川の音はとてもすばらしく、神秘的なものでした。最初にこんな所に行けて本当にうれしかった。

私は修学旅行に行くのが本当に嫌でした。何でわざわざ台風が来るときに、何にも楽しそうでない萩や宮島、広島に行かなくてはいけないのかと。(中略)しかし、実際行ってみると、今まで考えていた気持ちが一八〇度回転したような気持ちでした。(中略)そして、この修学旅行のイメージを変えたのは、友達と一緒にということでした。とにかく友達といういろいろ経験できたことで、どんな体験もいいものになりました。

最初、原爆ドームを間近で見て戦争の恐ろしさにゾッとしました。その後、平和の灯や犠牲者の方々の名簿を雨風から守っているという大きな鞍を見学し、被爆者の方のお話を聞き、私の中で、平和への願いー戦争なんかなくなればいいのーという思いはどんどん膨らんでいくばかりでした。資料館では、深い傷跡を後世に残して、戦争の愚かさを伝えていくことが、今の広島の人々の願いなのかなと感じました。



輝く千枚皿 (撮影：秋芳町観光商工課)



錦帯橋 (撮影：まつもとこうじ)

<http://www.kintaikyo.org/>



平和記念公園にて

名古屋↓山口↓萩↓岩国↓厳島神社↓宮島↓広島↓名古屋

十一月二十九日朝、小雨ちらつ

く犬山遊園駅。先週の延期から一週間。空の怪しい表情は先週同様だが、そんなことを気にもせず、校長は力強い第一歩を踏み出した。続く生徒、教員、そして保護者有志の熱気が天へと突き刺さる。いたずらな天気にも悩まされながらも、足取りは着実に滝学園へ向かう。

実施前に、「ただ歩く」というこの行事の深い意味を感じるのには難しい。しかし、一直線に、足を動かし、同じゴールを目指すこの集団に、あたたかい連帯感が生まれていくのを、誰もが感じ始めていた。

(中一生三五二人が三三kmを完歩)



今週も先週と同じパターンで、天気が崩れ気味だった。今度は本当に心配した。こんなことで僕らの思い出がひとつなくなると思うと、天気にも黙っていられなくなった。

歩くってすごい。歩いているだけで、いろんなことが楽しい。景色が光って見える。空がきれい。おしゃべりが楽しい。みんなのことがいろいろわかる。

二十三キロを完歩できたときは、こんな自分でもみんなと一緒に、つらいことでも一生懸命がんばれるんだなと思いました。学校に着いてからのぜんざい、とても美味しかったです。

みんなへ。「よくがんばりました！」みんななどの思い出がまた増えてすっごくうれしいよ。

86

%の生徒が喜んだ「ぜんざい」。保護者有志のチームワークが際立っていました。

事前に打ち合わせを行い、本番の段取りを整えた彼女たちは、当日のハプニングをもともせず、常に楽しみながら、テキパキと、かつ愛情深く作業を進めてくれた。



ました。おかげで、疲れたからだを癒そうと、甘いものに群がる生徒の顔がすっかり子どもそれに…。大活躍のぜんざいふるまい隊、今度はどこに現れてくれるか、楽しみです。(本当にありがとうございました！)

お知らせ

「高いですか？お宅の校舎の耐震安全性…」

十一月六日・七日の二日間にわたり本校で行われた入試説明会で寄せられた質問です。新潟中越地震の影響で、本校の受験を考える保護者の方の意識が“安全な生活”に及んでいることがわかります。

今後も皆様に安心して通学していただけるよう、細かなチェックを続けてまいります。

災害カードへのご協力ありがとうございました。お子さんが在校の時間帯に緊急事態が起こった際、このカードにご記入した



いただいた内容に基づいて、ご家庭との連絡をいたします。変更等ございましたら、その都度お知らせください。

現在本校は、緊急時の連絡にホームページを利用しています。（警報発令時の下校情報など）一度ご確認ください。この点に関してご意見やご不明な点がありましたら、なんなりとお尋ね下さい。



<http://www.taki-hj.ac.jp>

クラスの厚生委員と有志で組織され、年二回行われる「校外清掃活動」。五月に引き続き、十月二十九日にも実施。江南の町にできることを…の精神で頑張っています。

生徒会では、年に二回、通学

路など学

校周辺の清掃活動を行って

います。

…中略…

この日はあいにくの曇り空

でしたが、

大間公園のごみや落ち葉を拾いました。…こういう活動を通じて、滝生が学校の周囲にも目を向けてくれたらいいな、と思います。」



また前述の新潟中越地震で被害を受けた方へ、義援金を送金。生徒会の呼びかけで、合計八万二千八百二十四円を集めました。ひとりひとりの力が集まると大きな力になると実感です。

国内では台風や地震の被害、海外では平和に程遠いイラク情勢、今年も世界は、災害や紛争で多くの命を失いました。命の尊さとともに優さを実感するものでした。

定期考査を終えたキャンパスから聞こえる音は、そのほとんどが人が生きることの楽しさを感じさせるもの。これが世界につながることを強く願います。

校長 光岡敏雄